

学 校 だ よ り

平成26年7月18日発行
小野市立旭丘中学校
TEL 0794-62-2750

携帯・スマホ等の情報機器に関するアンケートの結果について 学校長 藤井 泰則

公園の向日葵も日に日に背を伸ばし、花ひらく夏の彩りの季節となりました。保護者の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援をいただきありがとうございます。先日は、あさひりサイクルデーにて、業者の勝手があり、大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

旭丘中学校では、昨年度までの教育活動を基盤に、『規律・活力』『豊かな感性』を育む校風づくり～互いに磨き合い、志を抱く教育活動の実現～を教育目標に、生徒や保護者の皆さまが「魅力」を感じる学校づくりを推進しています。

構築された学習規律を基盤に、授業では思考・表現力やコミュニケーション力の向上をめざし、修学旅行・トライやるウィーク等の学校行事においても、連帯感と感動ある教育活動に高まりを感じています。また、来校される方々からも、授業における生徒の真剣なまなざしやさわやかな挨拶・意欲的な清掃活動などに感心され、多数のお褒めの言葉をいただいています。これもひとえに保護者の皆さまの温かいご支援と感謝しております。

さて先般に実施しました「携帯・スマホ等の情報機器の活用状況」についての調査結果がまとまりましたので紙面にてご報告いたします。この結果は、自分自身を律する姿勢の大切さや周囲の大人の関わりを振り返るよき機会となっております。

「10代は人生の基盤づくり」の大切な時期です。正しい生活習慣や学習意欲を育て、将来展望に志を抱く機会に接することができる時期でもあります。今後も、生徒が健やかに成長できる環境づくりをめざし、学校と家庭が相互に支え合う関係づくりを進めていきたいと思っています。

学校評価アンケートからの課題 (H23～H25)

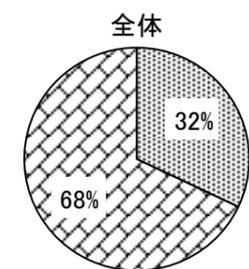
Q 携帯やパソコン等でメールやブログ等に熱中していることがある。

	H25	H24	H23
全体	45.1%	37.3%	41.0%
1年生	44.1%	28.6%	33.0%
2年生	37.5%	42.1%	36.7%
3年生	53.5%	40.4%	57.0%

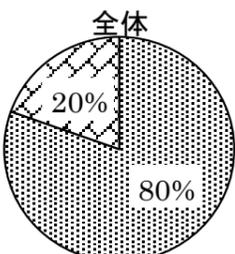
毎年2学期に実施する学校評価アンケートより、家庭学習において携帯・パソコン等に熱中するあまり、生活習慣の崩壊や家庭学習力の低下に繋がっていることが伺えます。また、学年が進むにつれ、その割合も増加している現状があります。本校が直面する大きな課題です。よりよい学習環境を生徒・保護者・学校で連携して創り出すことが大切だと思います。

携帯・スマホ及び通信機器等に関するアンケートから

携帯・スマホの所持率



通信機能つきゲーム機や音楽プレイヤー

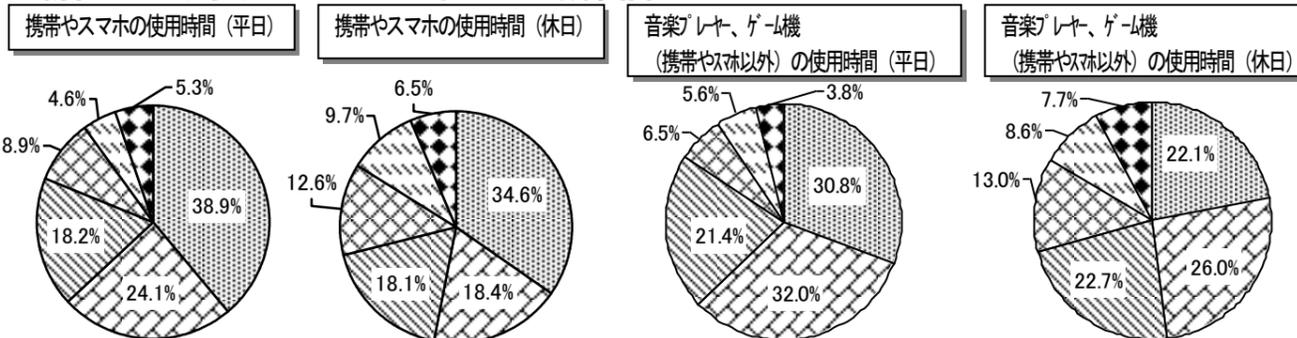


学年	所持している	所持していない
1年生	29.2%	70.8%
2年生	31.5%	68.5%
3年生	35.4%	64.6%
*各学年の所持率		

6月に実施した学習生活アンケートから本校の携帯・スマホの所持率は全国平均に比べ低い結果でした。しかし、通信機能付きゲーム機や音楽プレイヤーとなると全校生徒の8割前後が所持しています。

通信機能付きゲーム機や音楽プレイヤーとは、携帯やスマホから電話機能だけがないものと考えても過言ではありません。インターネットが繋がる(wifiが利用できる)環境が整えば、無料アプリをダウンロードしメールやオンラインゲーム、SNS等が無料でできます。また、費用面においても購入費だけで済み、携帯・スマホのように毎月の使用料を支払う必要がありません。しかし、携帯・スマホのような依存性はもちろんのこと、フィルタリング機能がないため危険度は高く、事件に巻き込まれる可能性が高いことを忘れてはならないものです。

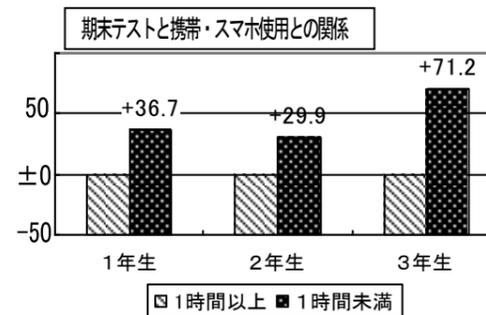
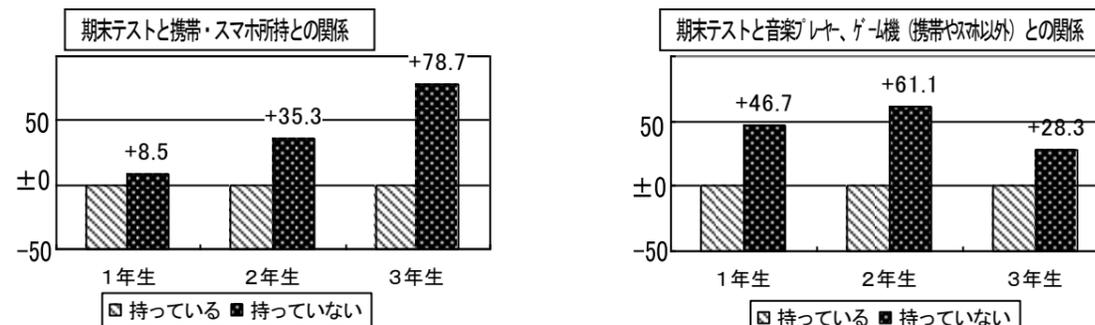
携帯やスマホ、音楽プレーヤーやゲーム機の1日の使用時間



1日の使用時間
 ①全くない ②1時間より少ない ③1時間以上、2時間より少ない
 ④2時間以上、3時間より少ない ⑤3時間以上、4時間より少ない ⑥4時間以上

上記のグラフは、携帯・スマホや通信機能付き音楽プレーヤー・ゲーム機の使用時間を示しています。これらの通信機器は、使い方によって犯罪被害にあったり、いじめ問題等のトラブルに発展していくなどの問題も指摘されています。また、長時間のメールやゲーム等により集中力不足、睡眠不足、学習効果の低下等の二次的な弊害へと繋がっていきます。先日、生徒は、「スマホやケイタイの使い方」授業を実施し、保護者の方々にもコメントをいただきました。川島隆太東北大学教授の研究から、1時間以上の使用により「学習が打ち消される」ことが実証されています。本校も長時間使用する携帯やスマホ等への依存症の生徒もかなり見受けられる危険性があります。

携帯やスマホ、音楽プレーヤーやゲーム機と期末テストの関係



グラフは、携帯やスマホ等の所有の有無・使用時間と期末テスト(5教科)との関係を示しています。携帯やスマホ等が及ぼす影響が驚くべき数値となって現れています。また、学年が進むにつれその差異は拡大していくことにも注目して下さい。さらに9教科合計・睡眠時間・学習時間も同様の結果となっています。知らず知らずのうちに時間が増え、依存症に陥っていることに気付いて欲しいと思います。また、学習力の低下だけでなく、人が成長していく上で身に付けていくべき集中力・思考力・創造性・コミュニケーション力等も損なわれています。

今こそ！家庭と学校の底力の見せどころ

子どもたちの健やかな成長を願うのは、家庭も学校も全く同じです。大人は、知識だけでなく、一喜一憂しながら、たくましさや豊かな感性を育てています。子どもたちの希望ある将来を願うからこそ、時には厳しく支えています。☆一番大切なことは、子ども自身が真剣に自分を変えたいと思うことです。楽しいことだけを求めるのではなく、自ら律する姿勢が大事です。強い意思と覚悟こそが自分を変える唯一の手段です。☆家庭では、子どもと真剣に話し合いをすすめて下さい。子どもの特性に応じて、時にはルール作り等が必要だと思います。また、携帯・スマホ等の講演会にも積極的に参加し、保護者が正しい認識を持つことが大切です。☆学校も生徒に志を抱く教育活動をすすめて、正しい生活習慣・学習の基盤づくりを進めていきます。また、生徒会を中心に互いに磨き合える集団づくりに取り組んでいきます。

「人(学校・家庭・生徒)が環境を創り、環境が人を育てる」